



TAKARA  
BELMONT

建築人

P 60分  
8-19  
パーキング・チケット

P 60

22-24時  
500円以上  
500円未満

22-24時  
500円以上  
500円未満

TB-SQUARE

バス  
922-924  
924-926



2019



大阪ホンママもん

# 建築人

# 5

2019

## 目次

- 2 大阪ホンマもん
- 4 インフォメーション・事業案内
- 6 動静レポート
- 7 Topics
- 8 Gallery 建築作品紹介  
八尾市立志紀おおぞらこども園  
設計・監理 東畑建築事務所 施工 三栄建設
- 11 記憶の建築 松隈 洋  
ブルーボックスハウス 一九七一年  
プライマリな建築を求めて
- 12 建築の射程 原 利明  
ユニバーサルデザインを改めて考えなおす (後編)
- 14 理事会報告 建築相談室から 編集後記

事業活動を通じて自己啓発し、  
楽しく人脈を広げませんか！

事業部門長 徳岡浩二



事業部門は青年委員会、女性委員会、国際委員会、シニア委員会および賛助委員会で構成されており、各委員会活動を通じて講習会や見学会などを継続的に、また会員の要請に応じて行っています。大阪府建築士会が行う総会や全国大会参加などの全体事業に加え、他団体との交流を広める在阪建築四団体合同忘年懇親会や新年交礼会などの運営を担ったり、長野県建築士会との交流や釜山広域市建築士会との国際交流事業を企画するなど、年間を通じ建築界と社会に情報発信するとともに委員各自の自己研鑽に努めています。奉仕の精神で各事業に取り組む中で、建築を愛し、目的を同じくする仲間を得られることは、委員会活動の醍醐味でもあります。

会社とは違うもう一つの拠点を持つことで、仕事に役立つ情報が得られるだけでなく、見識を広め、多様な観点から物事を見る能力を養成するきっかけにもなります。自分の時間を委員会活動に参画して有意義に活かして頂ければ、きっと豊かなライフスタイルを築く一助になるでしょう。年齢や経験は問いませんので、是非、気軽にご参加ください。

## 大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市南部に位置する主要ターミナル駅である天王寺。そこから更に堺市方面へ人々を運ぶ路面電車が走っている。阿倍野区にある、古今集の古歌に由来し名付けられた「阪堺電気軌道上町線 姫松停留所」を取り上げる。

この路線の前身は、明治三〇年（一八九七年）に設立された大阪馬車鉄道株式会社だ。当時は軌道に乗った客車を馬が引張っていた。天王寺西門前から東天下茶屋を通過させ、やがて沿線の宅地開発が進み利用客が増えると順次延長していった。その後、路面電車は著しい交通インフラの進展による乗客数減少による影響で、全国各地で廃止が相次いだ。この路線は、紆余曲折がありながらも運行されている。

この停留所は相対式ホームで、以前に取りあげた浜寺公園駅舎も木造だが、この姫松停留所も木造平屋建てだ。中にはベンチが据えられており、年配の利用者が座り会話を弾ませている。

このレトロな停留所は、フォークソングシンガーの加川良氏のレコードジャケットにもなっており、昭和四九年（一九七四年）に発売された「アウト・オブ・マインド」のスケッチ画は鄙びた風情で当時を再現しており、アルバム曲を聴くとより一層当時の雰囲気味わえる。

レトロは一過性のブームではない。日本の人口減少が過去最高を記録した今こそ、都市部の住宅街における未来の交通インフラを見つめ直す良い機会だと感じる。

## 建築士の会 東大阪 東大阪市文化創造館新築工場の見学会 6/22 CPD3単位(予定)

東大阪市文化創造館は2019年9月1日にオープンする施設で、優れた音質空間と上質な鑑賞環境を備えた1,500席の大ホールや、300席の小ホール、音楽、ダンス、会議、研修など各種用途に利用できる創造支援室を20室設けています。また、カフェレストランを併設し、施設の前には屋外緑地を設置した総合施設です。設計者の説明・質疑応答も行いますのでぜひご参加下さい。

日時 6月22日(土)  
13:30 近鉄八戸ノ里駅改札集合  
14:00~16:30 見学会、質疑応答  
17:00~ 懇親会

会場 東大阪市文化創造館  
定員 30名(定員に達し次第締切)  
参加費 1,000円  
懇親会 4,000円程度

## 第62回建築士会全国大会 北海道大会 9/21

今年の建築士会全国大会は、北海道の函館で開催致します。会員には大会登録料5,000円を補助します。

テーマ Re+ 明日のまちに輝きを

日程 9月21日(土)

会場 函館アリーナ他

※全国建築士フォーラム、歴史的建造物見学会(全国HMN協議会総会参加者対象)、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会は9月20日(金)に実施。

※地域交流見学会(エクスカッション)は9月22日(日)に実施。

申込 建築士4月号P29の参加申込書に必要事項をご記入の上、本会事務局に6月28日(金)までにご提出下さい。

大会の詳細は「建築士4月号」をご覧ください。

## Administration

### 行政からのお知らせ

## 建築基準法に定める完了検査の確実な受検について

大阪府全体の完了検査実施率は、平成10年の建築基準法改正以降、約38%から大幅に向上し、現在では約95%まで改善されました。しかし、全ての建築物が完了検査を受けている状況ではなく、完了検査の本来の性格からすれば十分と言えない状況にあります。

平成30年4月に宅地建物取引業法が改正され、既存建物の取引時の重要事項説明において、検査済証など建物の建築及び維持保全の状況に関する書類の保存状況について書面を交付して説明しなければならなくなるなど、ますます

検査済証の重要性が高まっております。

完了検査は、建築物の安全性を確保するための最後の手続きです。

完了検査の重要性を改めて認識して頂き、工事監理者又は代理者の業務を行う際には、建築主に対して完了検査の必要性を十分に説明し、適切に完了検査の申請を行うことを求めています。

■完了検査の確実な受検について  
大阪府ホームページをご覧ください。

■問合せ  
大阪府建築行政マネジメント推進協議会事務局  
(大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築安全課)  
Tel.06-6210-9727

## ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト 第1回 大阪のビュースポット募集 2/18~5/17

「ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト」は、世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を美しく眺めることができる場所(ビュースポット)を一般からの募集により発掘し、「ビュースポットおおさか」として選定したものを発信していくことで、市民・事業者、府への来訪者の方々の景観への興味・関心の向上を図り、府域全体の良好な景観形成を推進する取組みです。

このたび、第1回ビュースポット募集を以下のとおり行いますので、奮ってご応募ください。

○募集するビュースポット  
まちなみ、建物、道路、橋などの建造物や海、山、川、樹木などの自然といった、様々な景観資源を美しく眺めることができる場所のうち、下記の要件に当てはまるものをご応募ください。

- ・ビュースポットが大阪府内にあること
- ・ビュースポットが適切に維持管理されていること
- ・ビュースポットへの立ち入りが禁止されていない場所であること(立ち入りが有料が無料は問いません。)

○募集期間  
2019年2月18日(月)~5月17日(金)

応募方法など詳しくは「ビュースポットおおさか」と検索してください。

問合せ 大阪府住宅まちづくり部建築指導室  
建築企画課調整グループ  
Tel.06-6210-9718

## 宮脇権 手が考える 建築家・宮脇権のドローイング展 巡回展in京都 3/18~5/11

一昨年の夏に東京都内で開催された「宮脇権・手が考える」ドローイング展の巡回展です。京都展では、新たに、東京藝術大学卒業設計(1959年)とデザイン・サーベイトで最初に手がけ

た倉敷の町並み調査(1966年)の原図を加え、代表的な住宅作品5点を模型にして展示します。

主催 特定非営利活動法人建築文化継承機構

会期 開催中~5月11日(土)

会場 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
京都市左京区松ヶ崎

時間 10:00~17:00(入館16:30まで)

休館日 日曜、祝日

入館料 無料

最寄駅 京都市営地下鉄「松ヶ崎駅」

問合せ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
Tel.075-724-7924

## 懐かしい明治期、昭和の記録映像を見る会 5/11

明治期の浜寺公園駅舎。昭和32年、堺東銀座近くの学校の空き地での美空ひばりコンサートの風景。懐かしい西湊の風車、出島の潮湯の建物、大浜公園の旧旅館などの貴重な記録映像等。

日時 5月11日(土) 11:00~

会場 堺市立東文化会館

問合せ 明治建築研究会  
Tel.072-236-3357

## 第4回 建築セミナー 「建築と設備の接点 トラブル予防のツボ」 5/15 CPD2単位

日本建築協会では、「建築の本」の著書をお招きする連続セミナーを開催していますが、第4回を日本建築協会企画「図解 建築と設備の接点」の出版を記念して実施します。詳しくは日本建築協会のHPをご覧ください。

主催 (一社)日本建築協会出版委員会  
共催 学芸出版社  
講師 仲本尚志(atelier UNI-SUPPORT主宰)  
馬渡勝昭(一級建築士事務所Atelier・YOU代表)

赤澤正治(TAKシステムズ大阪支店 設備担当)

日時 5月15日(水) 18:00~20:00  
開場 17:45

会場 TOTOテクニカルセンター大阪  
大阪市中央区久太郎町3-6-8  
御堂筋ダイワビル2階

最寄駅 大阪メトロ本町駅

参加費 テキスト購入+受講4,200円、  
受講のみ1,500円

テキスト 「図解 建築と設備の接点」  
A5判・232頁・本体2,800円+税  
※当日はテキストを税込特価2,700円で販売します。

定員 50名

問合せ (一社)日本建築協会  
Tel.06-6946-6981

## フランス人の生活とインテリア 5/25 CPD2単位(予定)

ファッションやインテリア、建築などフランスは、デザインにおいて常に世界をリードし、羨望と憧

れの存在。フランス人の生活と空間について理解を深め、日本との相違点、類似点を考えることにより、デザイン発想の原点を探ります。

主催 (一社)関西インテリアプランナー協会

日時 5月25日(土) 15:00~17:00  
懇親会 17:15~20:00

会場 大阪産業創造館6階会議室E  
大阪市中央区本町1-4-5

参加費 講演会 1,000円(学生無料)  
懇親会 3,000円  
講演会+懇親会 4,000円

問合せ (一社)関西インテリアプランナー協会  
Tel.06-6266-5735

## 既存建築物の非構造部材の耐震診断指針講習「大阪開催」 6/20

(一財)日本建築防災協会では、2012年に「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針・同解説」原案作成委員会を設置、「既存建築物の非構造部材の耐震診断指針・同解説」を策定し、発行しました。

本指針の周知、普及のため、講習会を開催します。

主催 (一財)日本建築防災協会

日時 6月20日(木) 12:30~16:35

会場 大阪YMCA会館2Fホール  
大阪市西区土佐堀1-5-6

定員 300名

参加費 9,000円(受講料5,000円・  
テキスト代4,000円)

申込締切 開催日1週間前まで  
但し定員に達し次第締切

問合せ (一財)日本建築防災協会  
Tel.03-5512-6451

## 住宅メンテナンス診断士<sup>®</sup>講習会 第43回大阪会場 8/6 CPD5単位(予定)

木造住宅「メンテナンス・維持管理」の基礎講習会です。

主催 (一社)住宅長期支援センター  
内容(予定)

- ・住宅のメンテナンスとその診断
- ・住宅メンテナンス診断業務の基本と流れ
- ・木材劣化とその診断技術
- ・外装の劣化と診断
- ・調査・点検と「いえるか」の活用事例
- ・資格認定試験

日時 8月6日(火) 9:25~16:50

会場 新大阪丸ビル別館4-3会議室  
大阪市東淀川区東中島1-18-22

最寄駅 JR新大阪駅(東口下車)

定員 80名(先着順受付)

申込締切 7月30日(火)  
但し、定員になり次第締切

問合せ (一社)住宅長期支援センター  
Tel.06-6941-8336

## Others

### その他のお知らせ



## 会長動静

- 3/26 大阪府採用委員会
- 3/27 あすなる夢建築表彰式
- 3/28 中央建築審査会
- 4/ 1 大阪弁護士会正副会長挨拶来会
- 4/ 3 大阪府住宅まちづくり新部長面談
- 4/ 4 日本建築士会連合会女性委員会
- 4/ 8 上海市建築学会交流協定調印式
- 4/11 建築4団体会長・支部長会議  
ARCHI4KANSAI 提言書発表会見
- 4/17 理事会・正副会長会議
- 4/19 日本建築積算協会関西支部総会
- 4/23 大阪弁護士会役員就任披露会

## 運営部門

### 大阪弁護士会の会長・副会長が就任挨拶に来会

大阪弁護士会新役員の今川忠会長、倉橋忍・飯島奈絵・川村和久・廣政純一郎・桑原秀幸・磯川剛志・林裕之の各副会長が31年度役員就任挨拶のために4月1日に来会され、本会の岡本会長並びに副会長がお迎えしました。

大阪弁護士会とは平成29年に相互協力協定を締結しており、災害時の被災者支援や建築紛争解決の他、市町村が設置する空家等対策協議会等においても弁護士と建築士が各々の専門家として参画しており、今後も両会の協力関係をより強化して、社会貢献活動に取り組んでいくことを確認しました。



来会された大阪弁護士会新役員の皆さん

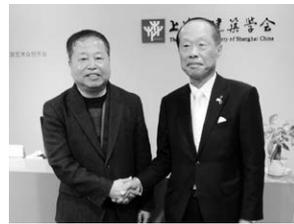
## 運営部門

### 上海市建築学会と交流協定を締結

本会と上海市建築学会は4月8日に上海市において「交流促進についての確認書」の調印を行いました。上海市建築学会は国家民生部門の批准を経て登録された独立法人社団組織で、1953年に設立され、

現在112の団体会員と2,600人を超える個人会員を擁しており、建築の設計、施工、情報、歴史など21の専門委員会が活動しています。

本会では、釜山廣域市建築士会、香港工業總會に続く海外団体との協定締結となります。また、上海市建築学会においても、日本の建築団体との正式な協定締結は本会が初めてで、米国(AIA)、英国(RICS)に続く3ヶ国目です。今後、様々な場面での両国建築士の交流促進を行います。



曹理事長(左)と岡本会長

## 運営部門

### 令和元年度の二級・木造建築士試験の申込状況

令和元年度の二級・木造建築士試験実施に向けた受験申込の受付を、4月22日(月)に終了しました。

大阪の申込者数は、二級建築士の学科が1,880名(昨年1,886名)、設計製図が321名(昨年383名)、木造建築士の学科が81名(昨年94名)、設計製図が5名(昨年4名)でした。なお、一級建築士試験の申込受付は、5月9日(木)～5月13日(月)に本会で行います。

## 社会貢献部門

### 文化庁ヘリテージ補助事業の採択

本会が平成25年から毎年実施している文化庁ヘリテージ補助事業は、4月1日に本年度の補助額17,040千円で採択されました。その主な内容は、今年度で7年目となる大阪府ヘリテージマネージャー(歴史文化遺産活用推進員)育成講座、地域の伝統的な建築やまちなみのMAP作成、文化財の活用と保存を学ぶ企画、登録文化財建築物の説明サインの設置、文化財を活用したイベント開催の他、Webサイト「大阪府文化財情報発信事業(大阪文化財ナビ)」の充実など多岐に渡ります。

今後、ヘリテージ委員会等において、事業実施の具体的な企画立案を進めます。

## 表彰部門

### 第63回大阪建築コンクールの入賞者が決定

本会が主催する平成30年度の第63回大阪建築コンクールの最終審査(委員長:松隈洋教授)を3月29日に行い、大阪府知事賞1点、渡辺節賞1点を下記のとおり選定しました。なお、表彰式は、5月22日の本会定時総会時に行います。

#### 【大阪府知事賞】

岡田泰典、近藤努、金井田雄介/株日建設(龍谷大学大宮キャンパス東翼)

#### 【渡辺節賞】

阿曾美実/阿曾美実建築設計事務所(HAT house -生きていく住まい-)

## 運営部門

### 「まちづくり提言書」のプレス発表

在阪建築4団体(本会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会)は、大阪・関西のまちづくりに係わる提言書をまとめ、4団体会長・支部長並びに各会選出の提言書運営委員から建設専門新聞各社に向けて4月11日にプレス発表を行いました。

4会は共同して、2025年の国際博覧会を視野に入れ、関西の活性化を目的とした「ARCHI4 KANSAI 提言書」を策定しました。本提言書は、関西におけるまちづくりの担い手から社会へと発信する「人間・空間・時間をつなぐ未来に向けた6つの提言」で構成されています。提言内容は建築士をはじめ行政や学校、企業などに幅広く周知し、提言の実現に向けた議論を深める契機にしたいと考えております。なお、提言書は本会ホームページから閲覧していただくことができます。



4団体会長・支部長と運営委員

## 木造ホテルの耐震改修講習会～志摩観光ホテルと奈良ホテル～

日程：平成31年2月19日（火） 会場：大阪府建築健保会館 6F 参加者：72名

1996年に「文化財建造物等の地震時における安全性の確保に関する指針」が、2013年には「重要文化財（建造物）耐震診断・耐震補強の手引」が文化庁より示されたことで、文化財的な建築物の耐震診断・補強も数多く行われるようになってきました。これらの建築物では一定の規定・規準等に依れば誰でもできるというものではなく、新築の設計以上に広く深い知識と判断力が必要になってきています。今回の講習は、木造住宅の耐震診断・補強の基礎的な知識だけではなく、志摩観光ホテルや奈良ホテルでの具体的な耐震診断～耐震補強工事の事例紹介まで幅広い内容となりました。

第Ⅰ部では「中大規模木造建築の耐震診断・補強設計の留意点等について」と題して診断法の種類、調査方法、診断の流れ、補強手法など基本的な内容を、京都大学生存圏研究所の五十田教授に講演して頂きました。

第Ⅱ部では「志摩観光ホテル（旧館）耐震改修について」耐震改修の概要、保有水平耐力計算、限界耐力計算、時刻歴応答解析、事前実験検証、工事の経過などを、京都大学生存圏研究所の北守助教に講演して頂きました。

第Ⅲ部では「奈良ホテルの耐震改修について」建設経緯に始まり、歴史と建築的価値、それを踏まえた耐震診断から補強方針・補強設計、具体的な補強工事の紹介などについて実際に設計業務を担当されたJR西日本コンサルタンツ株式会社の戸田部長に講演して頂きました。

特に第Ⅱ部と第Ⅲ部の耐震改修事例では豊



志摩観光ホテルの外観



奈良ホテルの外観



藤田 猛（構造・施工委員会）

富な写真を紹介して頂きながら、村野藤吾や辰野金吾が設計した建築物の「外観や内装の美しさを残しながら、どういう風に耐震補強箇所を配置していくのか?」「営業しながらどうやって耐震補強工事を進めるのか?」など具体的な説明で興味深い内容でした。また「志摩観光ホテルで開催された2016年伊勢志摩サミットでの様子」や「奈良ホテルに宿泊したアインシュタインが弾いたピアノを残した話」などトピックも満載で、楽しみながらも為になる講習だったと思います。このような講習会が、地震国日本に現存する歴史的建築物の耐震促進に役に立てばと思います。

## 建築技術講習会『大江一夫の設計術を学ぶ～夙川から六麓荘の実作を巡りながら～』

日程：平成31年3月16日（土） 会場：マニエラ建築設計事務所 参加者：27名

阪急夙川駅から六麓荘までの閑静な住宅街を、大江一夫氏と息子さんの泰輔氏にご案内いただき、大江先生の静かな語りにも耳を傾けながら見学しました。先生の作品は、落ち着いた町並みに溶け込みながら、一つ一つが個性を持ちつつ静かなたたずまいを見せており、印象的な空間を醸し出していました。角地に建つ「Light Screen」は、緩くカーブした花形ブロックの外観が目を引き、つい誘われて中に足を踏み込んでしまいたいそうになる。

「マニエラオフィス」は、正面から見ると角の生えた要塞のように見える。内部は地下1階地上2階のオフィスと元自邸になっている。狭い空間を工夫して、階段と上下階に居室を、前庭を囲むように配置し、広く感じられるように考えられていると思いました。「マニエラオフィス」を出て階段を80段ほど上がると、岩園隋道の上に「岩園の家」（自

邸）がある。高台に位置し、間口がとても広い。1階は右手にオフィススペース、左手にはプライベートスペースがある。収納や浴室、居室は不要なものが無くすっきりとした配置になっている。2階はLDKで、トップライトと広い開口がとても明るい空間を造りだしている。半分屋内のようなバルコニーのサッシを開けると、芦屋浜から大阪市内を一望することができ、通り抜ける風が気持ち良く、風と光と水を感じる。3階には、浴室やベッドが一緒になったワンルームがあり、仕切りが無く開放的であるが、ここにも落ち着いた空間が感じられる。住宅は形が重要であると思いますが、住まれる人によって印象、雰囲気はずいぶん変わります。大江先生の作品には、何事も受け入れられるような設計者の心の広さを感じました。最後の「六麓荘の家」は、竣工直前で広い敷地内でアプローチなどが工事中でした。敷地の高

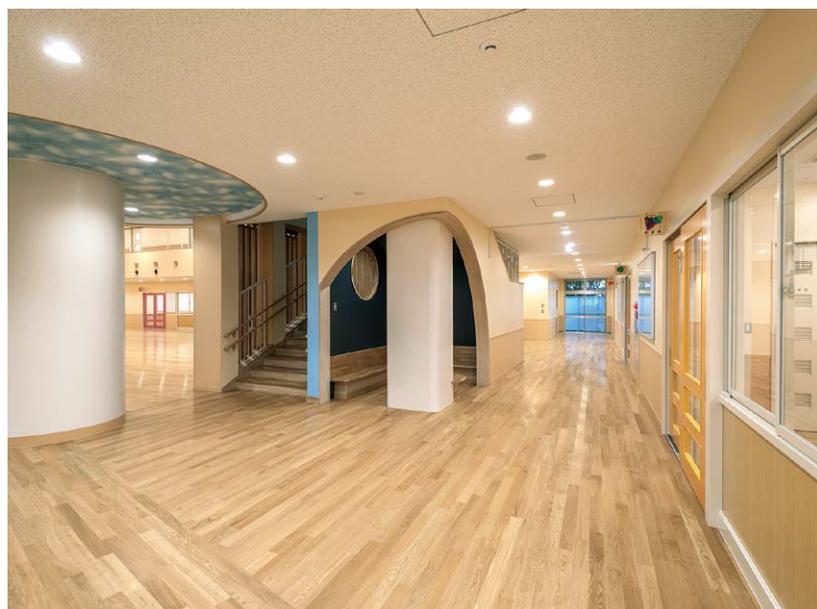
中島 薫（二級・木造委員会）



低差を生かし、北側に建物を配置し、東南に開放することで周囲への圧迫感をなくしている。リビングの屋外に水盤が設けられるようで、完成後、水面の揺らぎや光のきらめきなどがどう見えるのかとても興味が湧きました。今回は大勢の方々にご参加いただき有難うございました。引き続き二級・木造委員会では、「楽しみながら学ぶ」ということを大切に考えながら、住宅の見学会や勉強会を企画する予定です。



「岩園の家」



八尾市が目指す質の高い教育・保育、充実した子育て支援実践のために、市内就学前施設の基幹的な役割を担う公立認定こども園の一つである。南に八尾空港、北は府営住宅が建ち並ぶ住宅地の端に位置している。高窓から自然光の入る2層吹抜をもつランチホールを中心とした建物である。周りに保育室・遊戯室・絵本コーナーなどを設け、コンパクトな充実した屋内空間を創出するよう計画した。回遊性のある廊下でつなげることで、途切れない子どもたちの活動の誘発を目指した。0～5歳の子どもたちが自然とまとまって集う園舎としている。効果的に木質化を取り入れることで温かみのあるこども園とした。(松田一、井ノ本亘)

所在地：大阪府八尾市  
用途：幼保連携型  
認定こども園  
竣工：2019.02  
構造規模：RC造2階  
敷地面積：4,645.27㎡  
建築面積：1,874.57㎡  
延床面積：3,044.87㎡  
写真：Photo Studio  
505



尼崎市の公立保育所から民間移管された保育所の建替えて、所在地は中野道意翁によって380年前に埋立て開拓された場所である。よって建物全体の軽量化をはかり、自然素材への憧憬から木造在来工法で準耐火構造の認可保育園とした。室内構成は管理部門、保育部門、遊技場に分けられる。1階には0歳児～2歳児の保育室がある。午睡などの生活時間が異なるので特に0歳児は完全に間仕切った。2階に配置した3～5歳児室は大空間として提供し可動家具で間仕切られる。一体空間での日常生活は世代間の交流を促し兄弟的な付き合いが期待され、また担当保育士の連携が図られる。トップライトや開口部の配置を工夫し、自然の光と風のよくとおる保育園となった。（田中義久）

建築主：社会福祉法人  
来夢  
所在地：尼崎市道意町  
用途：保育所  
竣工：2019.01  
構造規模：木造2階建  
一部RC造  
敷地面積：758.57㎡  
建築面積：402.26㎡  
延床面積：684.95㎡  
写真：エスエス大阪

# 第12回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では  
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に  
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより  
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として  
建築人賞を実施しています。

## ■ 審査委員長 乾 久美子



1969 大阪府生まれ  
1992 東京藝術大学美術学部建築科卒業  
1996 イェール大学大学院建築学部修了  
1996～2000 青木淳建築計画事務所勤務  
2000 乾久美子建築設計事務所設立  
2000～2001 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手  
2011～2016 東京藝術大学美術学部建築科准教授  
2016～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授

## ■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞（賞状と記念盾）

建築人賞奨励賞（賞状）

※建築主・施工者には賞状授与

## ■ 第12回 対象作品

「建築人」2019年1月号から2019年12月号まで  
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

## ■ 受賞発表

建築人 2020年7月号誌面（予定）

## ■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係  
担当／母倉 政美

TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

## 『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2019

会報誌「建築人」では、Gallery に掲載する作品を  
募集しています。

### 【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会「建築人」  
Gallery 建築作品掲載係まで。

この春、宮脇檀（一九三六〜九八年）の直筆スケッチを中心とした展覧会「宮脇檀―手が考える／建築家・宮脇檀のドローイング」の京都巡回展を、念願かなって私の所属する京都市芸繊維大学美術工芸資料館で開催することができた。この展覧会は、日本建築家協会と金沢工業大学が共同して設立した「IAKITEアーカイブス（建築文化継承機構）」の主催により、二〇一七年七月に東京千駄ヶ谷の建築家会館で始まった。その実現には、元所員有志による手弁当の献身的な尽力と宮脇さんの長女の彩さんの協力、多くの賛同者の協賛があったという。それは、宮脇さんの、多くの人々に愛された人柄と切り拓いた仕事の広さ、与えた影響の大きさがもたらしたもののだろうか。今回は、私事ながら、宮脇さんとの出会いとささやかな思い出に触れておきたい。

始まりは一九七七年の夏、日本建築家協会のオープンデスクで、東京渋谷の代官山マンションの一室にあった研究室に通った二〇歳の学生時代にさかのぼる。当時は実設計図を見たことも、模型を制作したこともなかったが、二週間の研修で、初めてプロの建築家の仕事に直に触れ、製図の手習いを受け、模型制作を覚え、何よりも宮脇さんと所員たちの和気藹々としたやり取りに魅せられた。そんな研修中のある日、所員に連れられて事務所のミニ・クーパーに同乗し、現場帰りに立ち寄って外観だけ見たのが、ブルーボックスハウスだった。

秋学期が始まり、大学に戻っても、オープンデスクで得た経験の興奮は収まらず、同級生たちと共有したいと思ひ、生気意にも、宮脇さんに、「交通費をお支払しますので講演に来て下さいませんか」とお願いする。「京大近くの喫茶店・進々堂が大好きだ

し、学生から呼ばれたと言えは事務所を抜けるから、行ってあげるよ」と快諾された。こうして、教室を借り切って参加費を集め、本当に交通費だけで宮脇さんの講演会が実現する。夢のような時間だった。翌一九七八年夏には、就職内定の報告にうかがう。この時にかげられた言葉、「君は前川國男の事務所へ入るのに、プレモスのことも知らないのか」が今も忘れられない。

宮脇さんがあきれたのも無理はない。後々に知ることになるのだが、宮脇さんは、

別荘・たこの家（一九六四年）の設計で出会い、亀倉雄策のデザインに使われた東京オリンピックのポスターの写真で注目されていた新進写真家の早崎治だった。二人は都内二〇カ所以上の敷地探しの末、多摩川に面した崖地を見つける。本来ならわずかな床面積しか取れない敷地だったが、急勾配の傾斜地であることを逆手に取り、標準地盤面を斜面の中央に設定することによって、リビングのある主階を地下扱いにして床面積を確保するアイデアを考えつく。

の居心地の良さにも通じるように思えた。この住宅の発表時に、宮脇は、その設計方法を「プライマリ・アーキテクチャー」と名づけていた。前年に竣工した黄色い立方体の秋田相互銀行盛岡支店からスタートさせたこの方法は、続く住宅のボックス・シリーズへと展開されていく。そこには、どのような意図があったのだろうか。数年後、宮脇は、次のような文章を記している。

## 記憶の建築

松隈 洋

ブルーボックスハウス 1971年  
プライマリーな建築を求めて



西側の前面道路から見上げる建物全景

事務所開設直前の二八歳の時、『建築文化』に企画を持ち込んで実現した一九六四年二月号の総特集「住宅設計／一九四五―一九六三」の冒頭で、敗戦直後に前川が取り組んだ木造プレファブ住宅のプレモスを高く評価していたのだ。おそらくそこには、建築家としての出発点で自らの指針となるものを戦後住宅の中から見定めておきたい、という強い思いがあったに違いない。

このブルーボックスハウスは、その特集号から七年後に竣工する。施主は、すでに

こうして、ブルーに塗られた単純な箱が崖地に突き刺さり、五mほど飛び出している簡潔で力強い外観が生み出されたのだ。その特異なフォルムは、四一年ぶりに現地を訪れても健在だった。そして、学生たちが京都展のために模型制作することから、ご好意で室内にも初めて足を踏み入れることができた。そこには、外観の閉鎖的な表情からは想像できないほど、明るく伸びやかな空間が広がっていた。それは、宮脇の恩師の吉村順三が求めたモダン・リビング

「建物が小さくても都市のスケールに乗る。プライマリな型は大小を超えた形の意味を感じさせる。（中略）外を単純につくると内部はそれを感じさせながら細やかにつくらざるを得なくなるのがよい。（中略）人間の気持ちになつて考えられる。つくっているという実感がある。（中略）単純な発想、単純な型、単純な技術、僕の持っている単純な要素を自分なりに一生懸命とめあげて行くというプライマリな建物ができあがるという訳。」（宮脇檀「なぜプライマリな形を求めたのか」『新建築』一九七七年五月号）

これは楽観的なデザイン論ではない。建築が社会に対して「力を決して持ち得ないことを実感」した宮脇が、それでも「自分のための、ただし、自分に関する限り徹底的に厳しい倫理を掲げて行くこと」以外に「現在をつくるという行為に意味はないのではないか」との自覚からつかみ取られた究極の原理論なのだ。そしてそこには、前川のプレモスに連なるような住まいに対する建築家としての愛情が読み取れると思う。

松隈 洋

京都市芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

先月は原さんがユニバーサルデザイン（UD）に出会うきっかけや中部国際空港での計画事例についてご紹介いただきました。つづいて、今月は私達がUDを考えていくきっかけになるような例を交えながらUDの拡がりについてもご紹介いただきます。

## ユニバーサルデザインを改めて考えなおす（後編）

### 原 利明

鹿島建設株式会社 建築設計本部 一級建築士 博士（人間科学）  
設計の実務でユニバーサルデザインを具体化するための提案やコンサルティングを担当。視環境や感触の異なる床材の識別容易性に関する研究も行っている。ユニバーサルデザインの専門家として大学の非常勤講師や各種学会、国などの委員会でも活動。

茶室のようにつくり手と使い手が呼応する空間づくり

茶会では、主催者である亭主は、細やかな配慮で客を迎え入れる。露地の入り口に蹲を置き、客がそれを使った時の水の音で亭主は客が来たことを知り、茶会の準備を進める。庭の通路に止め石を置き、季節の花を愛でるように誘導する。茶室には、掛け軸や花、茶器などその空間は、光や音、匂いなど、ひとの感覚に語りかける仕掛けで溢れ、その日の茶会のテーマを提示している。迎えられる客は、これらの『設え』情報から亭主の意図を読み解く。ここでは「つくり手」と「使い手」が呼応しながら空間と時間を作り上げているように感じる。これがユニバーサルデザイン（以下、UD）の神髄と考えている。

これまでのバリアフリー整備と異なり、例えば視覚障害者配慮として、誘導ブロックを敷設するという短絡的な方法がとられてきた。しかし、視覚障害者の歩行の仕方を注意深く観察すると、床の凹凸や素材の違いなどを歩行の手がかりとして覚えていることがわかる。そこで、床に歩行の手がかりとなる『情報』を設計者が意図してデザインする。そして使い手である視覚障害者はそれを読み解いていく。歩行に際し情報が必要な人にとって、この床のデザインが手がかりとなるが、必要としない人にとっては、単なるデザインとしか映らない。

これまでも設計者は、空間を演出するためや安全性など様々な観点からデザインを行ってきた。色や光、素材感などを『情報』ととらえ直すことで新たなデザインの発想が生まれてくるのではないだろうか。そうすることで、特別な装置

や設備を用いずに多様な人々が使いやすいスマートな環境を作り出せるはずである。今回は、このようなデザインの可能性について考えていきたい。

### 空間認知から考える

私たちは、本当に視覚情報だけで空間を認知しているだろうか？情報の約八割〜九割は視覚から得ていると言われている。しかし、実際とは、視覚以外にも聴覚や触覚、そして嗅覚などすべての感覚をフル回転させて空間認知を行っている。例えば、聴覚情報で視覚野が活動することが知られている。落語などを聞くと各々が長屋のある街並み、ご隠居やおかみさんなどの登場人物をイメージしている。これがまさにそれである。

では、私たちは混雑した駅で階段がどこにあるかを本当に視覚情報だけで把握しているだろうか？多くの人が上り下りする足音などでその場所を無意識に認識してはいないだろうか？

見えない人や見えにくい人はこのような聴覚情報や前述のように床の凹凸や素材感の違いなどの触覚情報、更には蕎麦屋やコーヒーストップの匂いなどの嗅覚情報も活用し空間認知を行っている。一方で見え方に問題のない多くの人は、空間を認知するには視覚情報が圧倒的に優位なため、他の感覚器からの情報を意識することは少ない。しかし、このような

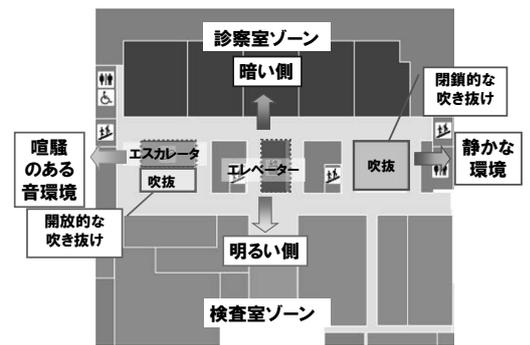


図1 ひとの感覚に語り掛ける建築計画



図2 誘導方向を誘う照明の配置

情報も無意識のうちに利用しているのがある。

視覚障害に限らず、このように様々な利用実態を深く理解することから新たなデザインの可能性が見えてくるのではないだろうか？

### デザインの可能性

●ひとの感覚に語り掛ける建築計画

センターコア式のプランで、EVを降りて左右どちらに進めばよいのか、わからなかったことはないだろうか？図1の建物では図面上側（北）は人工照明で下側（南）は光庭があり自然光が燦爛と降り注いでいる。上側は暗く、下側は、明るい。

また、この建物は左右に低層の吹抜けがある。右側（東）はそこにハメ殺しのガラスが入っている。左側（西）は、ガラスはなく、吹抜けと周囲の空間は一体化され、そこにはエスカレーターもあるため暗騒音が高い。右側は静寂で左側は喧騒がある空間となっている。この建物では、上下左右（東西南北）で明るさ感や喧騒感が異なり、これらの『情報』を読み解



写真1 中部国際空港到着ロビー



写真4 鹿島KIビルアトリウム



写真2 神奈川工科大学情報学部棟エントランスホール



写真3 神奈川工科大学情報学部棟基準階



写真3 誰もが生き生きと暮らせる未来の都市像<sup>\*1</sup>のイメージ (Illustrated by Mari Ueno/ARMO)  
ここに描かれているのは、最先端の技術を実装することによって、年齢や障害、言語の違いに関わらず、生き生きと暮らせる社会のイメージ。

これまでのように視覚情報だけでデザインを行うのではなく、聴覚や触覚情報も重ね合わせて考えることで、一つの感覚器からの情報が取得できなくなっても他の感覚器からの情報がそれを補完

できる。このようにひとの感覚に訴える空間・デザインは多くの人が使いやすい環境を創造できると考えている。

● 視覚情報  
例えば、照明を単に明るさを平均的に確保するように配置するのではなく、図2のように空間の輪郭がわかるように配置することで、形状を認識しやすくなり、更に行動を誘発させる可能性がある。写真1は、照明や床のデザインで進行方向を暗示させ、知的・発達障害のある人でもわかりやすい空間デザインの良い事例として国土交通省のホームページで紹介されている。

● 聴覚情報  
更に音情報にも着目してみたい。私が勤務する鹿島KIビル(写真4)は、ブリッジのある四層吹き抜けのアトリウムを持ち、ブリッジの下やアトリウム周辺の会議室周りは天井が低い。そのため、足音の反響の仕方も異なる。更にアトリウム内の騒音を制御するため(マスキング効果)に噴水が設けられており、人によっては音のランドマーク(サウンドマーク)ともなり得る。視覚障害者の中には、このような聴覚情報で十分に空間を把握できる人もいます。

更に、欧米や中国をはじめ韓国やシンガポールなどアジアの成長国も日本から数十年遅れて超高齢社会を迎える。各国は日本がどのような超高齢社会の都市ビジョンを描くのか注目しているはずである。

一九六四年の東京オリンピックを契機に高速道路や新幹線が開通しその後の高度経済成長を支えるレガシーとなった。それでは、二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックや二〇二五年の大阪万博のレガシーはなんだろうか? 国では、そのひとつとしてUDの取り組みを世界に発信していこうとしている。

# 理事会報告

文責 本会事務局

日時 四月十七日(水) 十六時〜十八時

場所 本会会議室

出席 理事三名 監事一名

名譽会長他四名 役員候補者九名

(一) 三〇年度の収支決算は、当初予算に対して約七四〇万円の赤字となりました。これにより当期の正味財産期末残高は五〇、七〇六、七六二円と報告して承認されました。三〇年度の赤字は、会費収入及び登録閲覧事務、定期講習、CPD制度登録、建築物耐震評価業務の事業収支が堅調に推移し、特に枚方市の罹災証明二次調査業務、泉佐野市の国庫補助事業及び特定空家業務の事務費収入による増収が大きき要因です。また、公益法人の運営条件として、①経常費用の合計額一八六、二二九、五五四円に対して、公益目的事業額二六五、六〇一、四一八円が1/2以上を占めること、②当期経常増減額の公1:公2:公3と公益目的事業会計が全てマイナスイスであること、③収益事業額の五二六、七三九円の五〇%を公益目的事業に振替えたうえでも当期増減額がマイナスであることの三点全てを満足していることを報告しました。なお、本会の公益目的事業比率は八八、九%で、公益法人の条件である五〇%を大きく上回りました。

(二) 既設の名譽会員称号や永年会員表彰に加えて、在籍四〇年の会員を対象に「栄譽会員表彰」を新設する表彰規定の改定を承認し、令和元年度定時総会から表彰を実施することとしました。

永年に亘り本会発展のために尽力されている会員に感謝し、シニア会員の慰留も含めて新たな表彰制度を制定します。

# 建築相談室から三十七

二〇一八年の建築相談室

文 橋本頼幸

毎年五月号の建築人では前年(二〇一八年)度の建築相談室の活動をまとめています。昨年度は六月の大阪北部地震・九月の台風二十一号により甚大な被害がもたらされ建築相談が急増しています。ここ五年分の変化とともに紹介します(図1)。

年間相談件数が過去最高を記録

過去十年で最も相談が多かった昨年十七年度の相談件数に比べて、十八年度は約一八倍の二二九件でした。月別集計(図2)から、地震発生後の六月に二百六十二件、翌七月が二百七件とこの二ヶ月に集中しています。現地相談予約件数が八十九件、うち実施件数八十一件とこちらも過去最高を記録しています。一方で面接相談の予約件数二十七件、うち実施二十九件となっています。予約件数より実施件数が多いのは、当初現地相談予約だったのが面接相談に切り替わった相談がいくつかあったためです。現地相談予約件数の割合

地震後のブロック塀調査で、現地相談予約件数がかなり増えたように見えますが、電話相談件数に対する現地相談予約件数は、ここ三年間七%前後であることがわかります。件数は増えていますが割合はあまり変わっていません。一日相談件数の推移

十八年度は相談件数が多く、一日平均五二件と、昨年の二七件の約倍になっています。地震発生前の四五月はこれまで通り二二二三件でしたが、これは地震直後から約三週間二回線電話相談にあたっていたことも影響しています。地震発生した六月が十三件をピークに少しずつ落ちていくものの三月になっても三四件と昨年

度平均を上回っています。地震によって建築相談室の認知度が上がり、その後災害関係以外でも相談が継続していることを示しています。

二〇一八年十月・十一月号では地震後の建築相談室の対応や相談内容を、十二月号では台風被害の相談対応について紹介いたしました。詳しくはそちらも参照ください。また、ここで書き切れなかった、本報告の詳細な内容は大阪府建築士会・建築相談室のホームページで、ご覧いただけます。

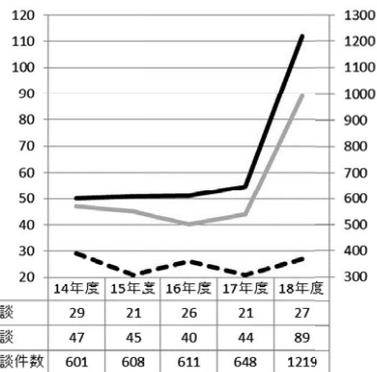


図1 過去5年の相談件数の推移

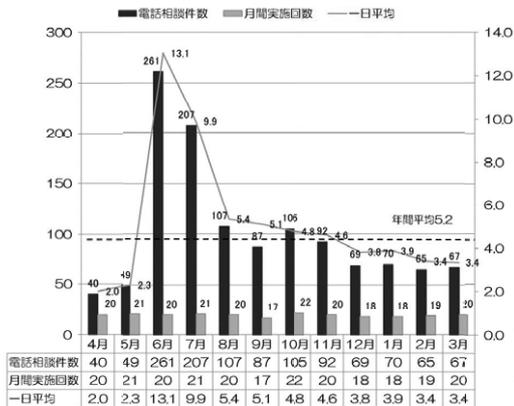


図2 2018年度の月別相談件数と処理数

# 編集後記

飯田英二

新しい時代『令和』が始まりました。

この「建築人」を発行する情報委員会にも新メンバーが多く加わり、より良い誌面づくりを目指して新体制で日々執筆・編集作業を行っています。今月二二日にはKKRホテル大阪で定時総会も開催され、いよいよ新しい年度の本格的なスタートです。関西全体におきましても、今年のG20サミットやラグビーワールドカップ、二〇二一年ワールドマスターズゲーム、そして二〇二五年の大阪万博など、国際的なビッグイベントが目白押しで、本当に久しぶりにワクワクするような状況になってきています。

新しい元号『令和』には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。幅広い領域の専門家が集まり、老若男女の多種多様なメンバーによる委員会が構成される当会にとっては、まさにうってつけの時代の幕開けではないでしょうか。

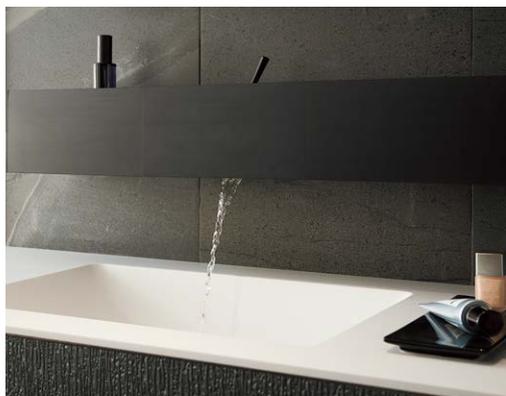
これからの大阪府建築士会、ならびにこの「建築人」、何卒よろしく願います。

# 建築人 5 2019

監修 公益社団法人大阪府建築士会  
建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部  
部門長 飯田英二  
委員長 牧野隆義  
編集人代表 荒木公樹  
編集人 河合哲夫 北 聖志  
曾我部千鶴美 橋本頼幸  
丸子勇人 茂籠一之  
若江直生  
事務局 山本茂樹 母倉政美  
印刷 中和印刷紙器株式会社

**morfa** 無限に変化する、水のデザイン



**morfa** (モルファ) は、水栓・シャワー・アクセサリを自在に組み合わせることができる画期的なコレクションです



## TB-SQUARE 竹中工務店

街の魅力を高める「美と健康」の情報発信地

理美容機器、頭髪化粧品等の製造販売を主軸とするタカラベルモント株式会社のフラッグシップとなる建物の計画である。

敷地は大阪の心齋橋に近い堺筋に面する場所に位置し、本社を初めとする周辺の関連施設との関係性や高いランドマーク性が求められた。そこで、外観は企業メッセージである「美と健康」からイメージした、白とコーポレートカラーの青の「リング」をずらしながらつなぎあわせるように構成し、既存棟とのスケールのな一体感を持つ清潔感と躍動感を表現したランドマーク性の高い印象的な表情を創出した。

内部は1～3階を実際に商品体験できるショールームフロア、4・5階を講習室やテストラボを配したスタジオ系のフロアで構成し、コミュニケーションの場となる屋上庭園とシースルーエレベーターで結ぶことで、自然光を取り込むと共に、講習を含めた多様なサービスを垣間見ることができる空間とした。特にショールームでは全体を吹抜けを介したスキップフロアで構成することで、視覚的な連続性を作り出すと共に、堺筋側にスロープと空間展示を組み合わせた動線一体の展示空間を設け、ショールームを移動する人のアクティビティを外部へ表現した。

プロフェッショナルビューティの情報発信地であるこの建物の誕生をきっかけに、周辺エリアの魅力向上につながることを期待している。

撮影：古川泰造 第38回大阪都市景観建築賞建築サイン・アート賞受賞作品

### ■プロフィール

栗崎 浩 (くりさき ひろし)  
2000年 関西大学大学院  
工学研究科修了  
同年 竹中工務店入社  
現在 同社設計部

### ■建物データ

設計：株式会社竹中工務店  
施工：株式会社竹中工務店  
ショールーム設計施工：タカラスペースデザイン株式会社  
所在地：大阪市中央区島之内 2-13-22  
用途：事務所  
構造・規模：S造 地上6階・塔屋1階  
敷地面積：1,427.67 m<sup>2</sup>  
建築面積：981.31 m<sup>2</sup>  
延床面積：4,590.02 m<sup>2</sup>

